

**GMO** CLOUD

GMOクラウド

証券コード3788

2018年 第3四半期  
**決算説明資料**

# 免責事項

- ✓ 本資料の内容は、作成日時点において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢ならびに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- ✓ 本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者がその他の目的で公開または利用することはできません。

## 1. GMOクラウド会社概要

## 2. 2018年 第3四半期決算概要

## 3. 事業概況

- ✓ クラウド・ホスティング事業
- ✓ セキュリティ事業
- ✓ ソリューション事業

# 1. GMOクラウド会社概要

---

# GMOクラウド会社概要

会社名	GMOクラウド株式会社
証券コード	3788（東証一部）
設立	1997年5月 株式会社アイル
事業内容	総合インターネットサービスの提供
主力事業	クラウド・ホスティング事業（クラウド、ホスティングサービス） セキュリティ事業（電子認証、企業向けID・パスワード管理サービス） ソリューション事業（IoT関連、O2Oアプリ、電子契約、ネットワークエンジン、 車両遠隔診断、車両流通（中古車フリマサイト））
親会社	GMOインターネット株式会社（東証一部：9449）被持株比率51.3% *2001年5月 GMOインターネットグループへ参加
子会社	15社 連結13社(国内6社、海外7社) 非連結2社（2018年9月末現在）
従業員数	連結 894名（2018年9月末現在）

# GMOクラウドの事業領域

## 【インターネットの安全を支える】

1. 安全なクラウド基盤の提供  
**(クラウド・ホスティング事業)**
2. 電子認証により、通信（取引）を守る  
ID管理により、利用者の入り口を守る  
**(セキュリティ事業)**

## 【企業のクラウド利用を支える・便利にする】

3. 「IoT関連」、「O2Oアプリ」、「電子契約」  
「ネットワークエンジン」、「車両遠隔診断」  
「車両流通（中古車フリマサイト）」  
**(ソリューション事業)**

## **2. 2018年 第3 四半期決算概要**

---

# セグメント別トピックス ハイライト

## クラウド・ホスティング事業

- 法人向けレンタルサーバー「iCLUSTA+」に「SSLサーバー証明書」の無料提供を開始

## セキュリティ事業

- IoTデバイスのIDライフサイクル管理を包括的に行う「IoT IDプラットフォーム byGMO」の提供を開始
- 仮想通貨マイニングソフトウェア「Cryptknocker byGMO」の提供を開始
- 企業向けシングルサインオンサービス「SKUID byGMO」「Internet Explorer」への対応完了

## ソリューション事業

- 車両遠隔診断サービスで双日、三井住友海上Gと業務提携



# 2018年 第3四半期連結決算概要[累計比較]

単位 百万円	2017年Q3実績	2018年Q3実績	前年同期比
売上高	9,033	<b>9,454</b>	+ 4.7%
営業利益	725	<b>1,076</b>	+48.5%
親会社帰属利益	546	<b>826</b>	+51.3%
EBITDA※	825	<b>1,172</b>	+42.2%

※EBITDA: 営業利益 + 販売管理費減価償却費 + のれん償却費

## 【押し上げ要因】

- ✓ セキュリティ事業が連結業績を牽引し、増収増益を達成
- ✓ クラウド・ホスティング事業の効率化に伴い費用削減進展

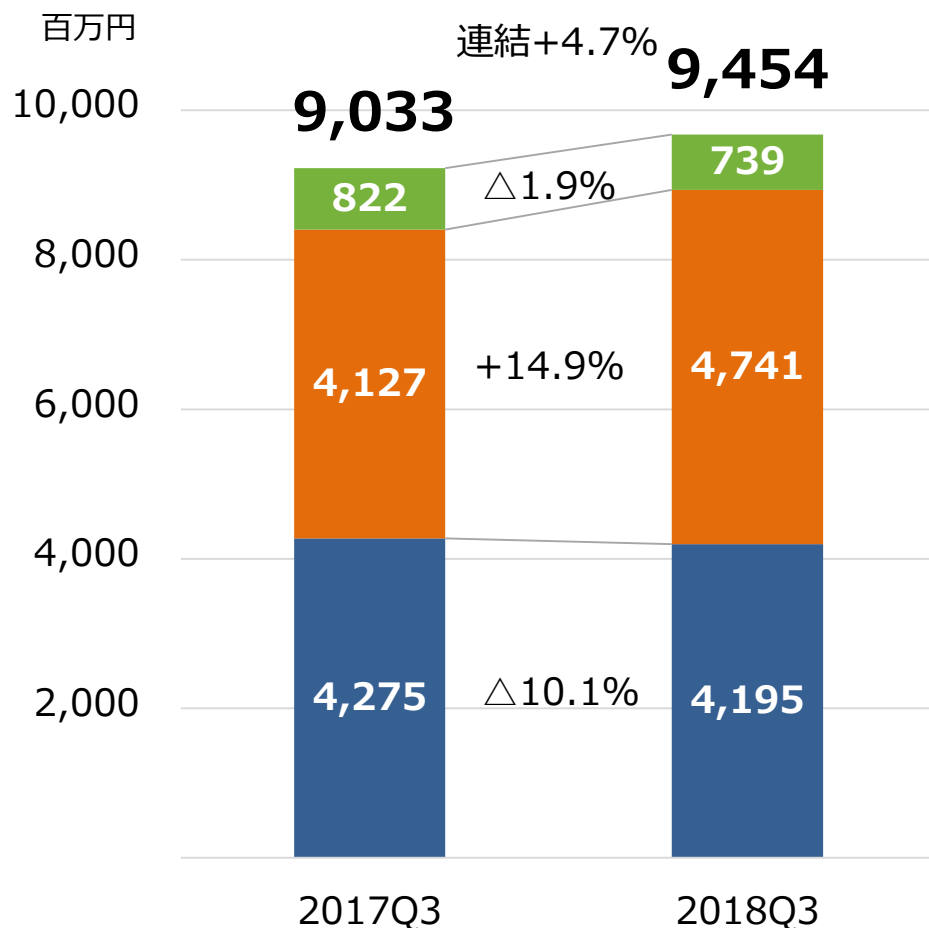
## 【押し下げ要因】

- ✓ セキュリティ事業拡大に伴う人員増加による人件費の増加
- ✓ 新規事業関連費（研究開発費/ソフトウェア費用）の増加

# 2018年 第3四半期連結決算概要[累計比較]

## セグメント別売上高 (セグメント間取引控除前)

■ クラウド・ホスティング ■ セキュリティ ■ ソリューション



### ■ クラウド・ホスティング事業

- ✓ クラウド売上は増加、一方、共用サーバー、専用サーバーは減少傾向続く

### ■ セキュリティ事業

- ✓ 「常時SSL化」および「EU一般データ保護規則」対応によるSSL証明書の需要増加
- ✓ エンタープライズ向けサービス充実により好調
- ✓ アジアを中心とした新興市場の売上好調推移

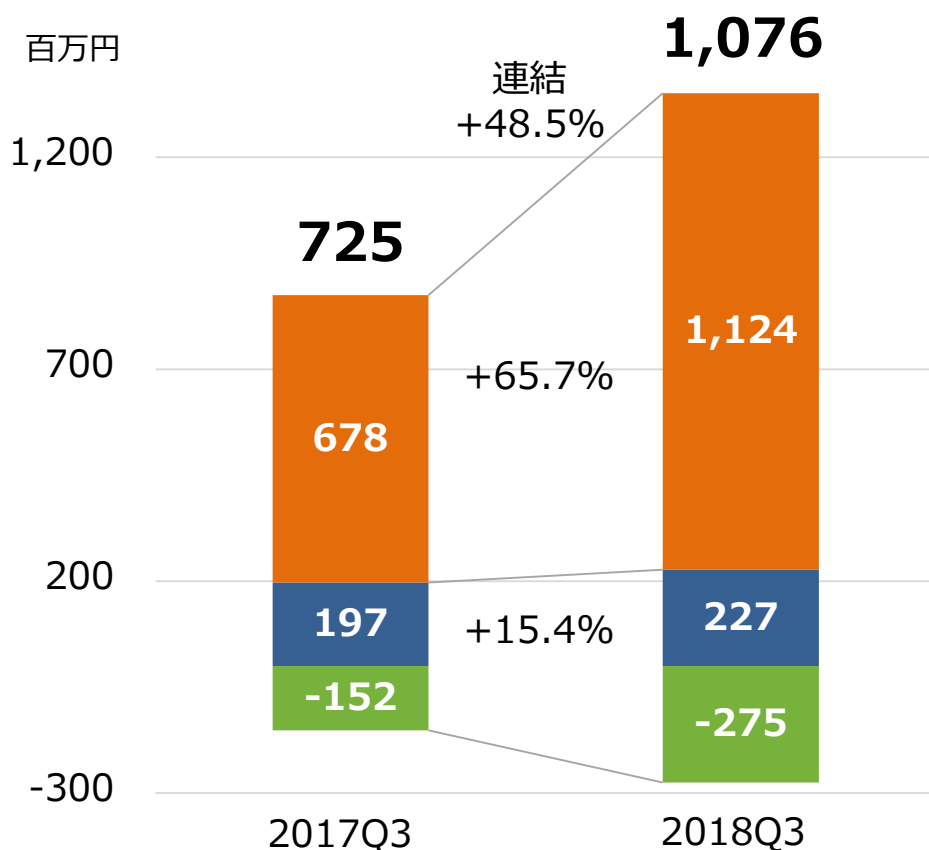
### ■ ソリューション事業

- ✓ スピード翻訳事業売却(2017年12月)による売上減少

# 2018年 第3四半期連結決算概要[累計比較]

## セグメント別営業利益 (セグメント間取引控除前)

■ クラウド・ホスティング ■ セキュリティ ■ ソリューション



### ■ クラウド・ホスティング事業

- ✓ データセンターの効率化等により利益率増加

### ■ セキュリティ事業

- ✓ IoTセキュリティ及びIDアクセス関連投資により人件費増加であるが、売上高増加、売上原価の外注費減少により売上総利益増加

### ■ ソリューション事業

- ✓ 次の成長に向けたIoT関連事業への投資により損失増加

## 2018年 第3四半期連結決算概要[四半期比較]

- ✓ 2Q比、人件費や研究開発費は増加したが、売上増加により増益
- ✓ 特別利益は、投資有価証券売却により33百万円

単位： 百万円	2017年 3Q	2017年 4Q	2018年 1Q	2018年 2Q	2018年 3Q	前四半期比
売上高	3,019	3,172	3,106	3,133	3,213	+ 2.6%
営業利益	248	336	360	340	375	+10.2%
経常利益	253	332	352	385	427	+11.0%
親会社 帰属利益	183	89	231	293	301	+ 2.7%

# 2018年 第3四半期セグメント情報 [四半期比較]

✓ セキュリティ事業は日本、アジアで売上が好調に推移

売上高		百万円	
セグメント	2018年 2Q	2018年 3Q	前四半期 比
クラウド・ ホスティング	1,390	<b>1,392</b>	+ 0.2%
セキュリティ	1,570	<b>1,650</b>	+ 5.1%
ソリューション	241	<b>246</b>	+ 2.1%
消去又は 全社	△68	<b>△76</b>	-
連結計	3,133	<b>3,213</b>	+ 2.6%

営業利益		百万円	
セグメント	2018年 2Q	2018年 3Q	前四半期 比
クラウド・ ホスティング	86	<b>71</b>	△17.1%
セキュリティ	369	<b>391</b>	+ 6.0%
ソリューション	△114	<b>△87</b>	-
消去又は 全社	△ 0	<b>△ 0</b>	-
連結計	340	<b>375</b>	+10.2%

# 連結貸借対照表

単位：百万円	2017年12月末	2018年9月末	増減率	
流動資産	5,544	6,274	+13.2%	<b>主な資産増減要因</b> ✓ 現預金 +688百万円 ✓ 投資有価証券 +175百万円 ✓ ソフトウェア +92百万円
(現金預金)	3,695	4,384	+18.6%	
(売掛金)	1,350	1,332	△1.4%	
固定資産	3,074	2,964	△3.6%	
(ソフトウェア)	671	764	+13.8%	
(のれん)	-	-	-	
(投資有価証券)	379	555	+46.2%	
(関係会社株式)	57	57	-	
資産合計	8,619	9,238	+7.2%	
負債	3,362	3,442	+2.4%	
(前受金)	1,554	1,636	+5.2%	
(借入+リース債務)	514	420	△18.2%	
純資産	5,256	5,796	+10.3%	
(株主資本)	4,957	5,466	+10.3%	
(その他包括利益累計)	261	304	+16.4%	
(非支配株主持分)	36	25	△30.0%	
負債・純資産合計	8,619	9,238	+7.2%	

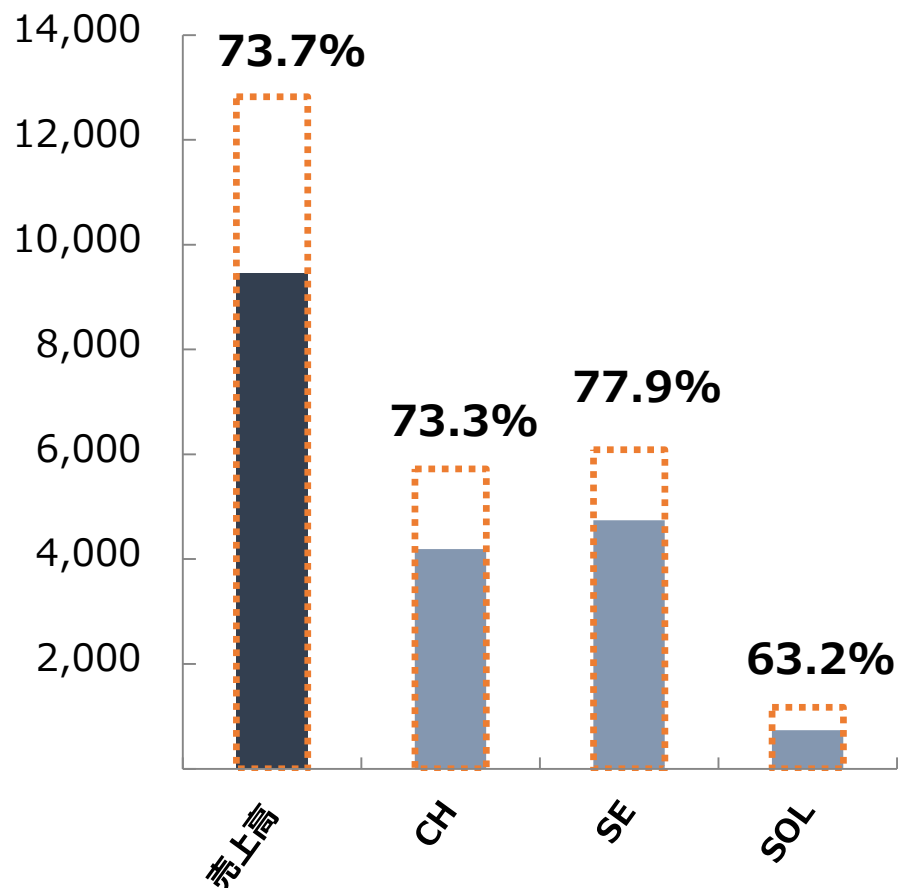
# キャッシュ・フロー概要

単位：百万円	2017年 3Q	2018年 3Q	主な要因
営業キャッシュ・フロー	1,243	<b>1,491</b>	税前利益 1,125百万円 減価償却費 532百万円 投資事業組合投資益 75百万円 法人税等支払 281百万円
投資キャッシュ・フロー	△519	<b>△213</b>	固定資産の取得 432百万円
財務キャッシュ・フロー	△463	<b>△496</b>	配当金支払 317百万円 ファイナンス・リース債務返済支出 165百万円
現金同等物の増減額	+ 295	<b>+738</b>	
現金及び現金同等物の 期末残高	3,456	<b>4,374</b>	

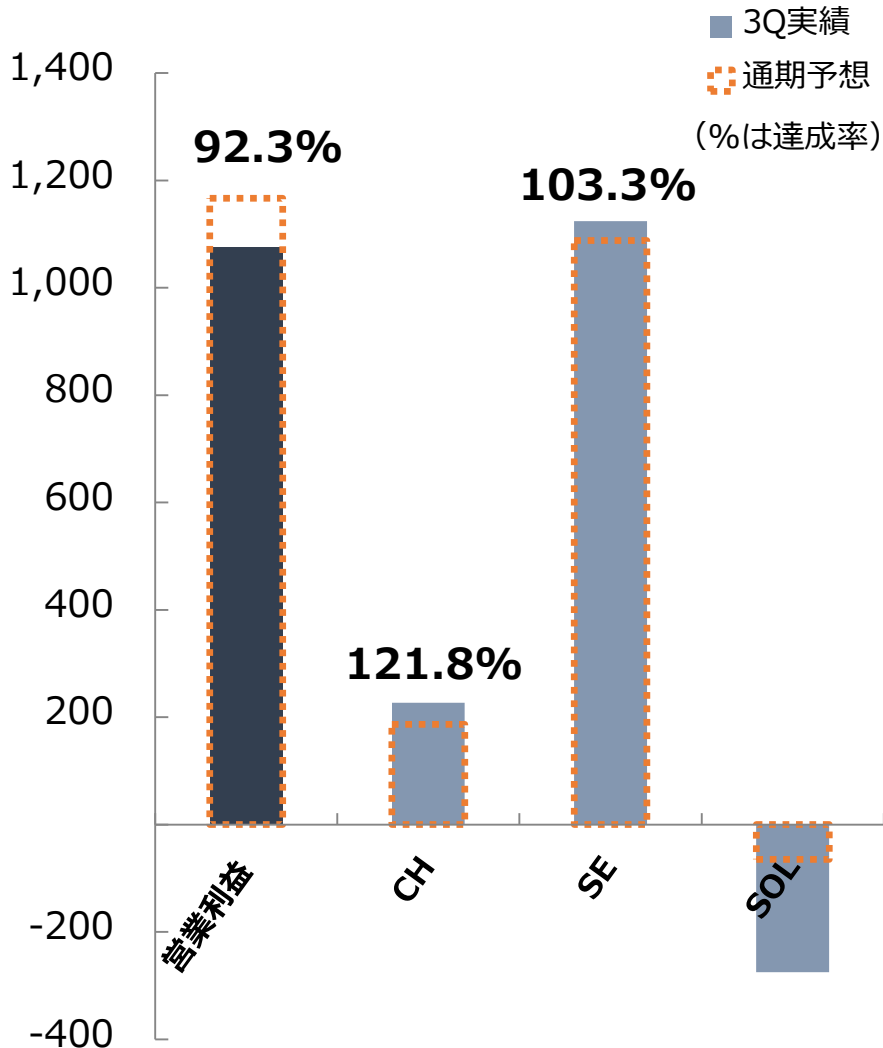
# 2018年 業績予実比較

## 売上高

単位：百万円



## 営業利益



CH:クラウドホスティング事業 SE:セキュリティ事業 SOL:ソリューション事業



## 2018年 通期業績予想

- ✓ IoTおよびソリューション事業のコスト負担をこなし、  
セキュリティ事業続伸により増収増益計画
- ✓ 業績予想は、利益が当初計画を上回っているものの、  
為替の影響や投資ならびに減損の可能性等を考慮し据え置き

単位:百万円	2017年12月期 (実績)	2018年12月期 (予想)	2017年比
売上高	12,206	12,825	+ 5.1%
営業利益	1,061	1,167	+10.0%
経常利益	1,087	1,167	+ 7.4%
親会社帰属利益	635	700	+10.1%
1株当たり 純利益(円)	55.17	60.77	-

## 2018年 通期業績予想〔セグメント別〕

- ✓ クラウド・ホスティングはIoT含む新規事業費用によりマイナス
- ✓ セキュリティは、IoTセキュリティおよびIDアクセス関連の新規事業関連の投資継続

### 売上高

単位： 百万円	2017年 12月期 (実績)	2018年 12月期 (予想)	2017年比
クラウド・ ホスティング	5,707	<b>5,722</b>	+ 0.3%
セキュリティ	5,666	<b>6,089</b>	+ 7.5%
ソリューション	1,093	<b>1,171</b>	+ 7.1%
消去又は 全社	△260	△ <b>157</b>	—
連結計	12,206	<b>12,825</b>	+5.1%

### 営業利益

単位： 百万円	2017年 12月期 (実績)	2018年 12月期 (予想)	2017年比
クラウド・ ホスティング	263	<b>187</b>	△29.1%
セキュリティ	995	<b>1,088</b>	+ 9.3%
ソリューション	△200	△ <b>108</b>	—
調整	+ 2	+ <b>0</b>	—
連結計	1,061	<b>1,167</b>	+10.0%

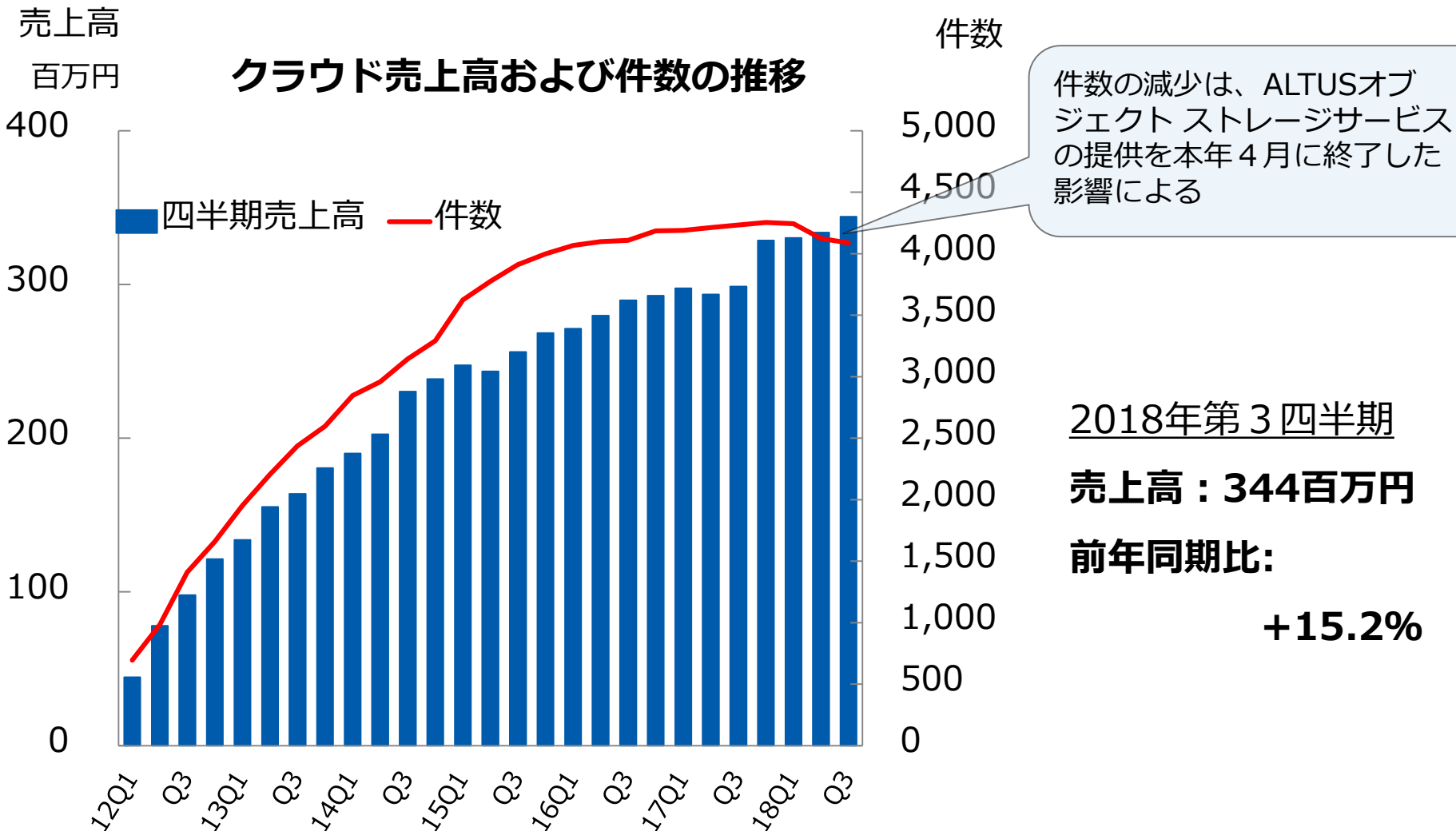
## 3. 事業概況 **クラウド・ホスティング事業**

---

安全なクラウド基盤の提供

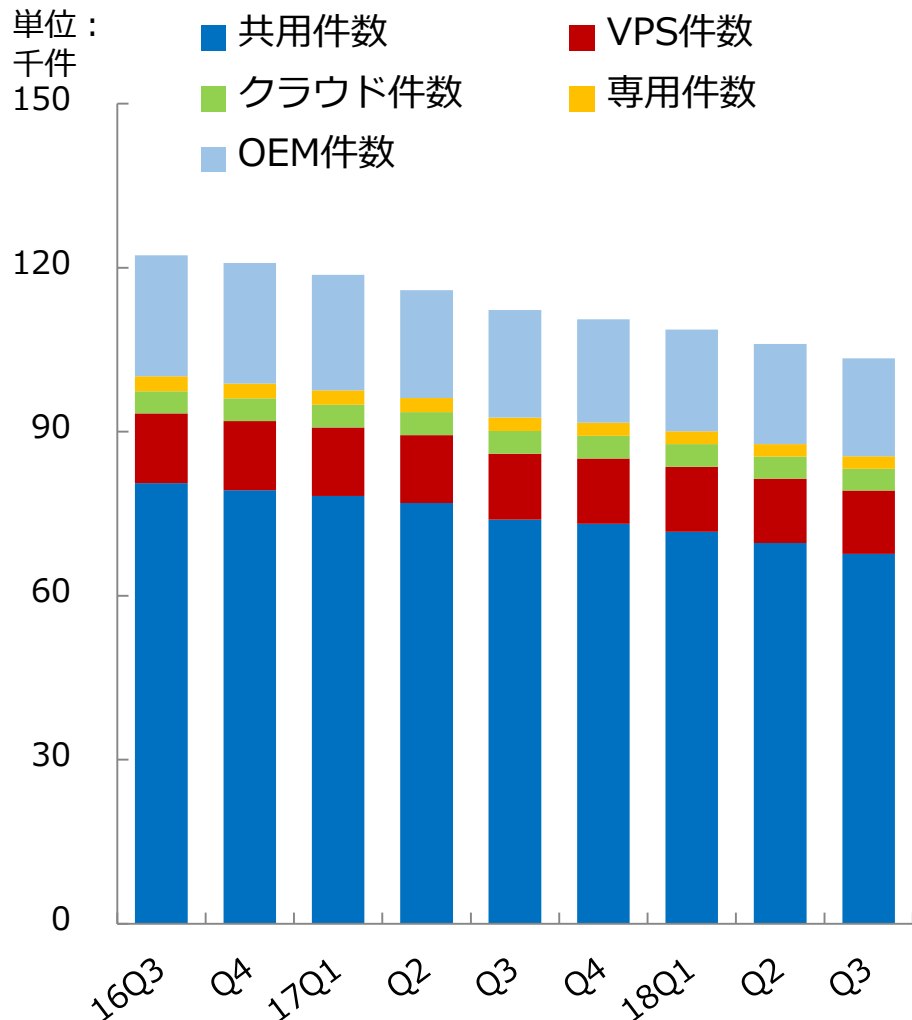
# クラウドサービス売上高と件数推移

## 高単価プライベートクラウド売上増加傾向

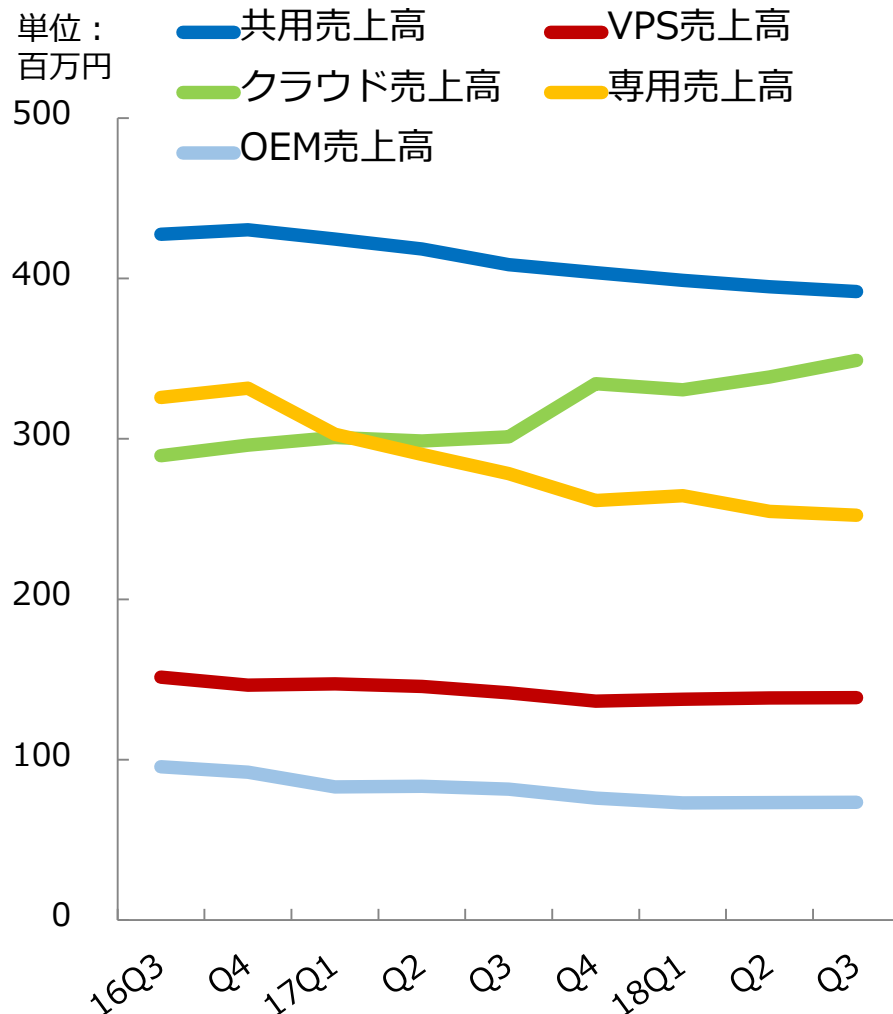


# クラウド・ホスティング事業 商材別実績推移

## 四半期別 商材別件数



## 四半期別 商材別売上高



### 3. 事業概況

## セキュリティ事業

---

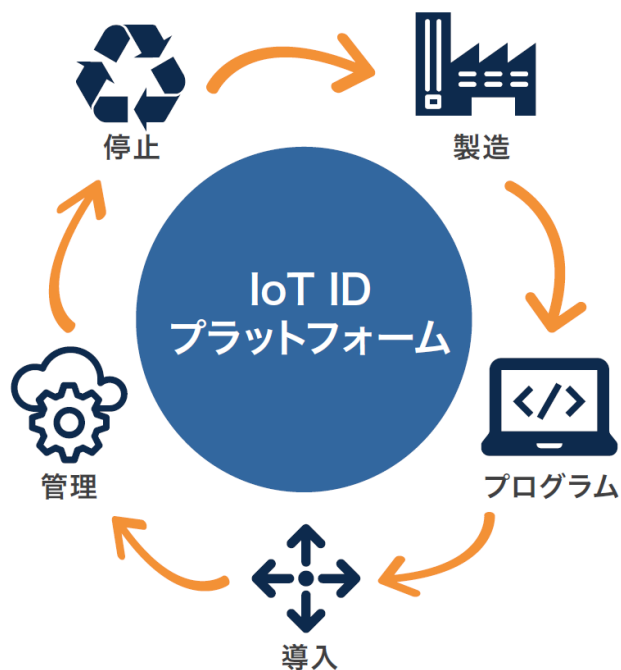
電子認証により、通信（取引）を守る

# 「IoT IDプラットフォーム byGMO」の提供を開始

IoTのIDを総合的に管理することができる

「IoT IDプラットフォーム byGMO」を9月より提供開始

- ✓ 10月よりIntrinsic IDと共同でCarnegie Technologiesへサービス提供
- ✓ Wi-SUN Alliance※認定認証局として参加企業のテストケースにサービス提供



デバイスのIDライフサイクル管理

強固なPKI基盤による高い安全性

1秒3,000枚以上の証明書を発行可能

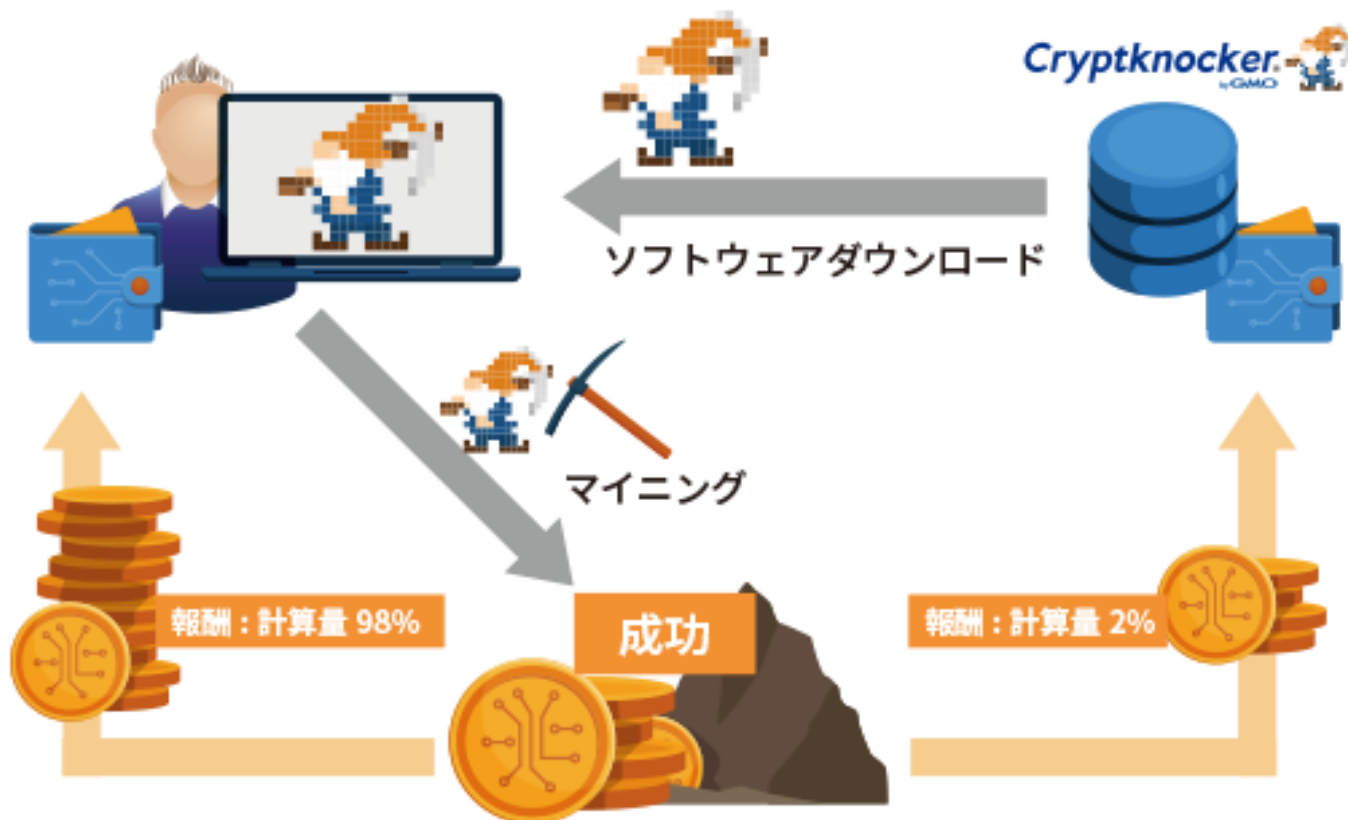
多様な証明書形式や拡張領域に柔軟に対応

※Wi-SUN Allianceとは、スマートシティーやスマートグリッドの無線通信規格を制定する世界的な会員制の非営利団体

【詳細URL】 [https://jp.globalsign.com/contact/common/pdf/IoT\\_ID\\_Platform.pdf](https://jp.globalsign.com/contact/common/pdf/IoT_ID_Platform.pdf)

# 仮想通貨マイニングソフトウェアの提供を開始

PKI（公開鍵暗号基盤）や認証局ビジネスの技術ノウハウを生かした仮想通貨マイニングソフトウェア「Cryptknocker byGMO」の提供を9月より開始



【詳細URL】 <https://www.cryptknocker.com/>



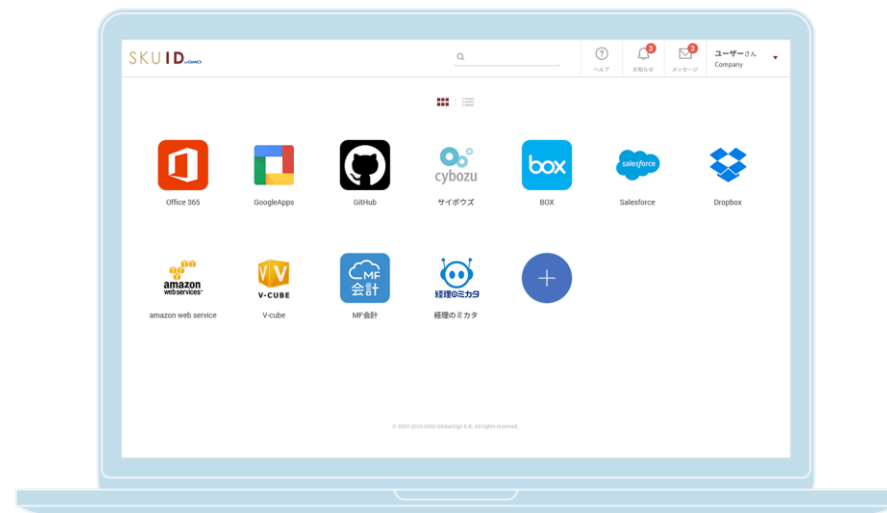
# 「SKUID byGMO」 拡張機能を追加し利便性向上

「Google Chrome (TM)」 「Mozilla Firefox(R)」 版に加え、法人のお客様からの要望が多かった「Internet Explorer(R)」版の拡張機能を新たに提供開始



SKUID byGMOとは…

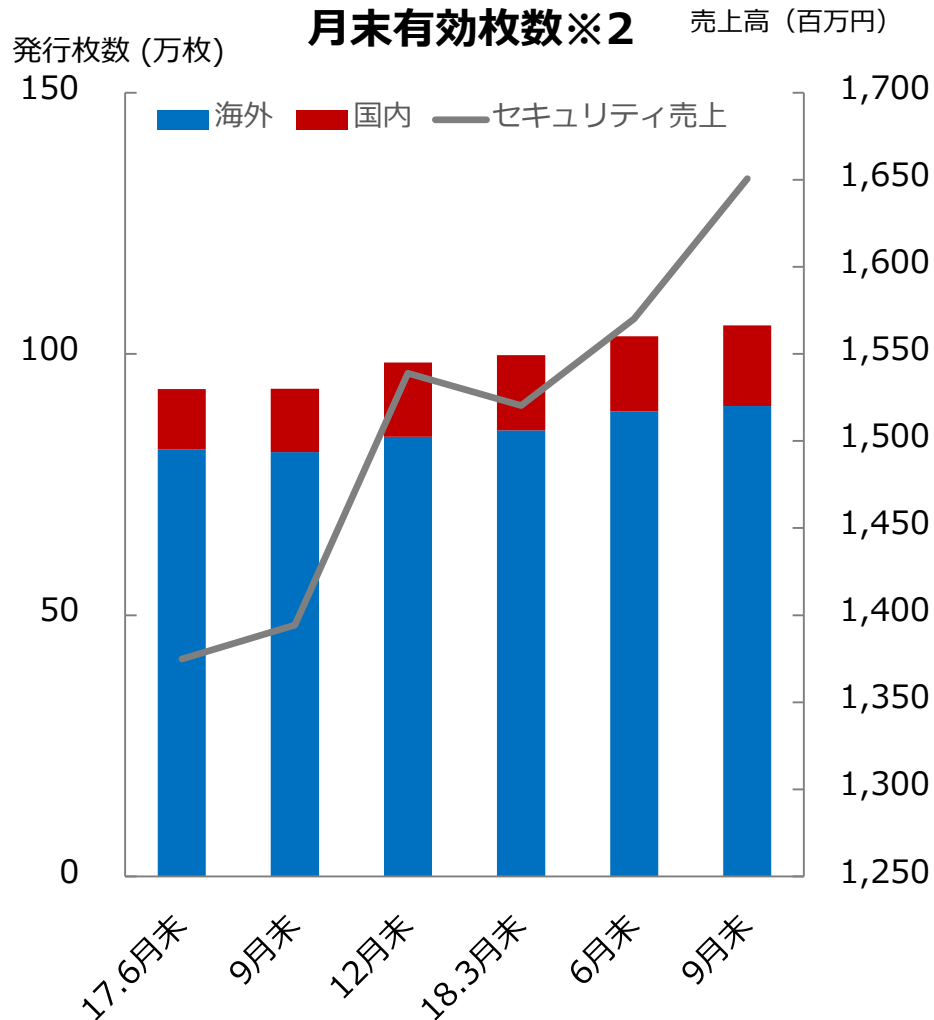
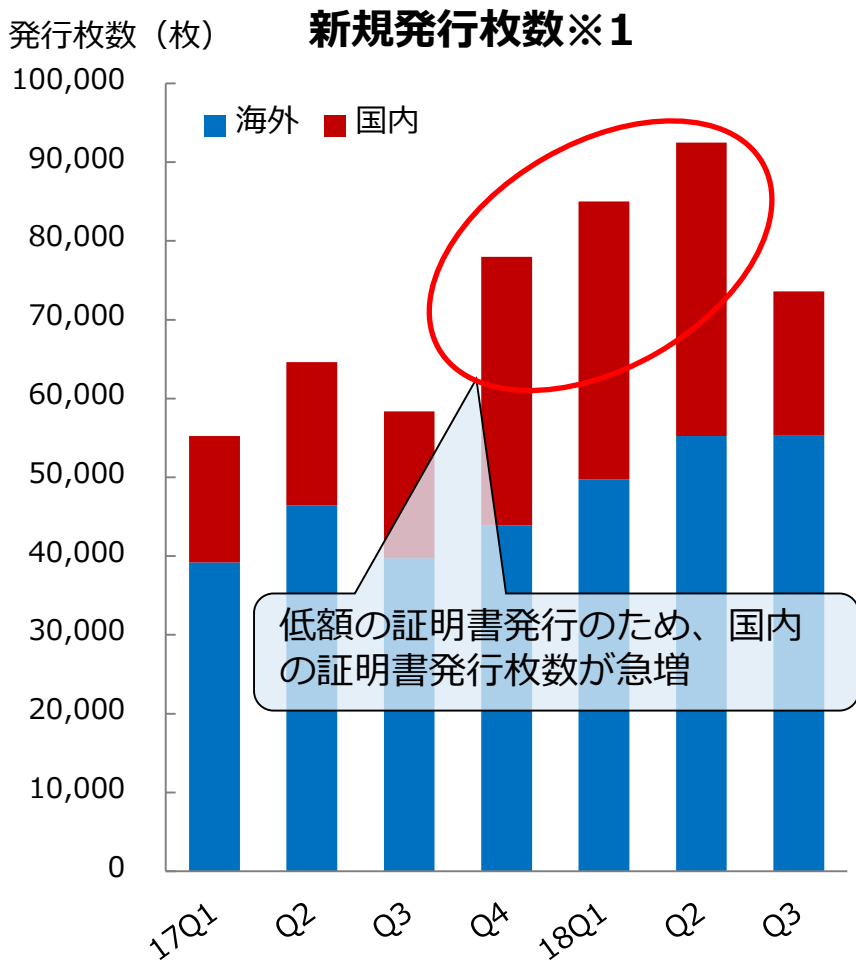
企業向けシングルサインオンサービス。  
業務利用する社内のシステムやクラウドサービスの「ID」と「パスワード」をひとまとめで管理できるクラウドサービス



【詳細URL】 <https://sku.id/>

# SSL証明書発行枚数

国内の低額証明書発行が一巡したものの、売上高には影響はなし



※1 枚数無制限契約及び毎月大量発行の枚数を調整した数値

※2 有効枚数とは、現在電子証明書の有効期限内であり実際に利用されているアクティブな枚数

## 3. 事業概況

## ソリューション事業

---

プラットフォーム IoTソリューションサービスの提供

# IoTの窓口 byGMO トピックス



AI分析技術を活用して実店舗来店客の属性や行動を分析・見える化

ダイバーシティ インサイト フォー リテイル

**「Diversity Insight for Retail byGMO」** を10月より提供開始



【詳細URL】 <https://iot.gmocloud.com/diversity-insight/retail/>

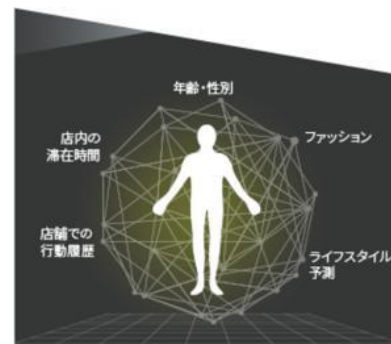
# IoTの窓口 byGMO トピックス

## 「Diversity Insight for Retail byGMO」導入することで… 小売業界における業務効率化と、来店客分析の精度向上を実現

### ■ AIが瞬時に来店客数をカウント



### ■ 多様な項目で個人の属性を分析



### ■ 行動導線からLTV※まで可視化



### ■ ヒートマップ行動分析

カメラ画像



※LTV(ライフタイムバリュー)とは、顧客一人あたりが生涯のうちに企業・ブランドにもたらす価値(利益)の総額

# 自動車向けIoTソリューション トピックス

## 他社との事業提携を積極的に推進

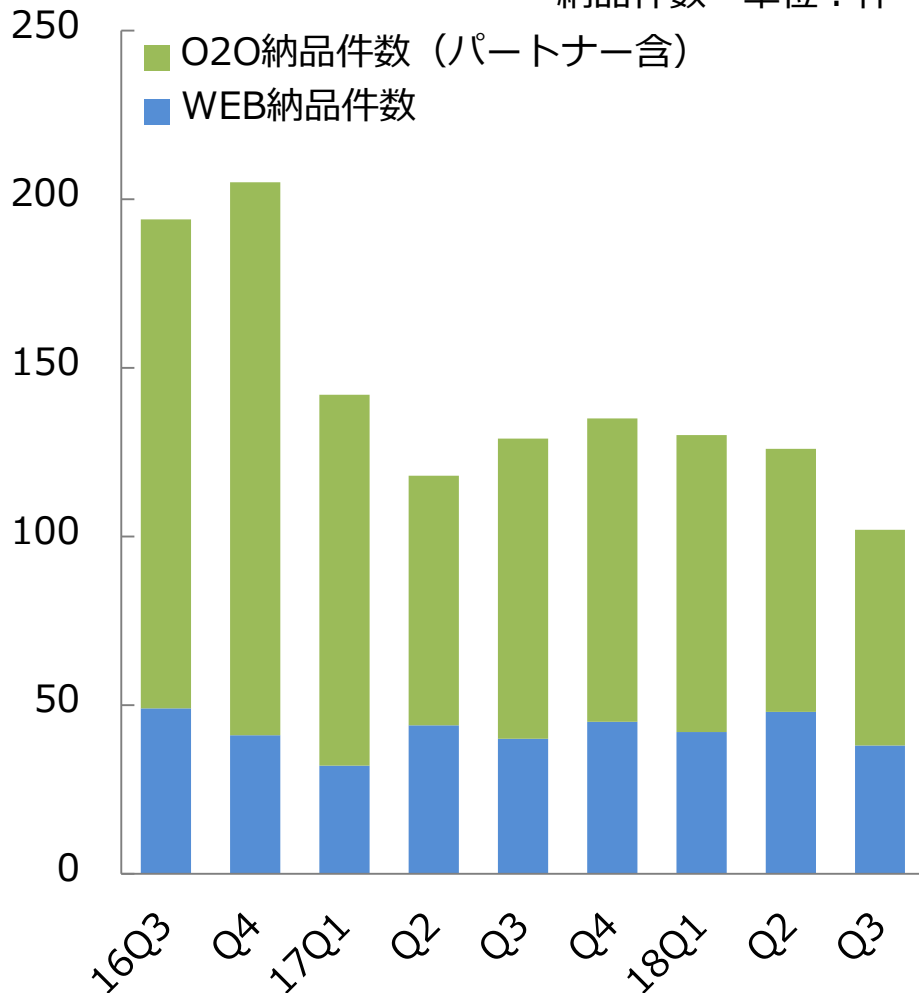
- ✓ 9月に双日株式会社と自動車向けIoTソリューションに関する市場開拓と新たなサービスの開発推進に向け業務提携
- ✓ 10月からは三井住友海上グループのエーシー企画と、同社の会員企業である整備会社2,148社への販売・販売支援で業務提携



# Webソリューション O2O※ GMOおみせアプリ

## 納品件数の推移

納品件数 単位：件



- ✓ 9月の北海道胆振東部地震の影響により約1ヶ月間事業が滞った影響で営業、製作低調
- ✓ バイク業界初のバイク店専用アプリ制作サービス提供開始
- ✓ リテンションマーケティング機能を追加した店舗アプリ提供開始

国内ダウンロード数

**160万件**

海外ダウンロード数は14万件

国内導入店舗数

**3,500店超** (2018年9月末)

※O2O: オンラインとオフラインの購買活動が連携し合う、またはオンラインでの活動が実店舗の購買に影響を及ぼすサービスのこと

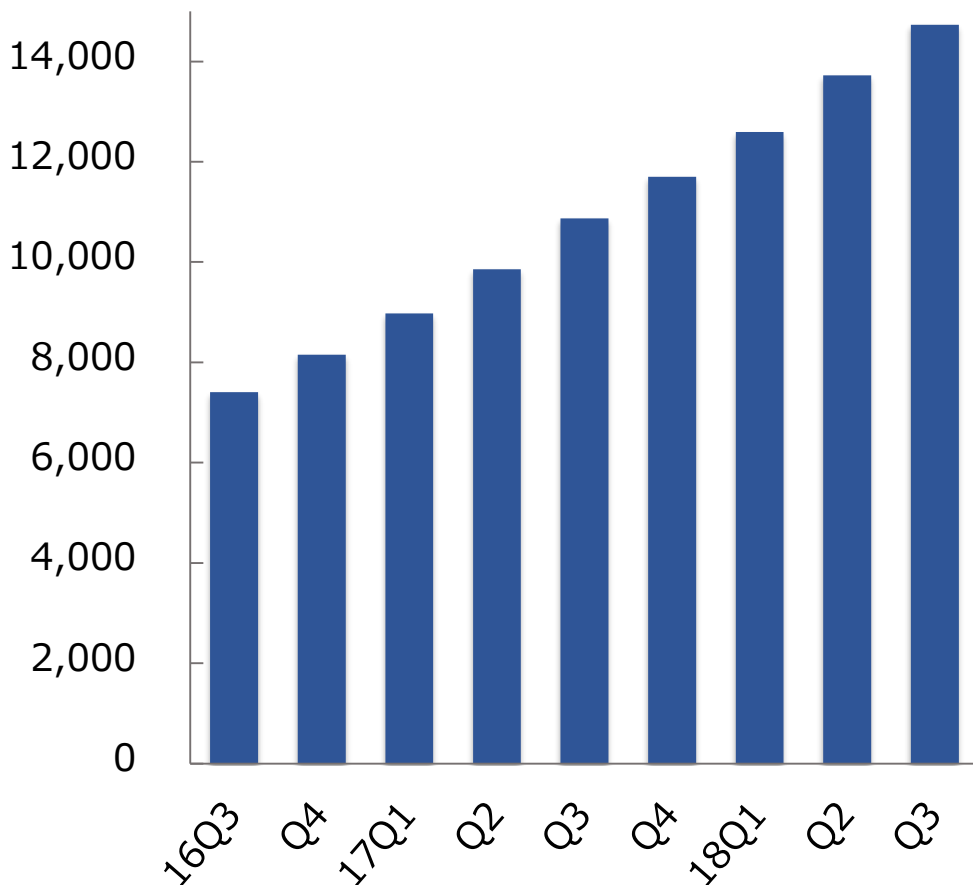
【詳細URL】 <https://zr-market.jp/bikeshop-lp/> , <https://mgt.gmo-app.jp/>

# ネットワークエンジン (Photon)

大手ゲームパブリッシャーに採用され、業績も順調に推移

— アカウント数推移 —

累計数(人)



【詳細URL】 <http://www.photonengine.jp/>

—— トピックス ——

8月開催の開発者向けカンファレンスにて採用事例が紹介されました







GMOクラウドグループは  
One GMO CLOUD へ

## 当資料に関するお問合せ先

GMOクラウド株式会社 社長室 IR担当 中、松下

TEL : 03-6415-6100

E-mail : [ir@gmocloud.com](mailto:ir@gmocloud.com)

または <https://ir.gmocloud.com/contact/ir/> よりお問合せください。